

情報活用能力 練馬区モデル

	資質・能力	小学生			中学生
	観点	1・2年生	3・4年生	5・6年生	
		STEP 1	STEP 2	STEP 3	STEP 4
基本的操作	知識・技能	Chromebook の起動や終了 ログイン・ログアウト・写真・ビデオ撮影 ミライシードを使って、ファイルを保存したり、送ったりすることができる	キーボード入力（１０文字/１分） 教師の指示で、ドキュメント、スプレッドシート、スライド、Jamboard 等を操作することができる ファイルの保存・インターネット検索	キーボード入力（３０文字/１分） 自分で、ドキュメント、スプレッドシート、スライド、Jamboard 等を選択し、操作することができる ファイルの保存場所の選択(マイドライブや共有ドライブ)や上書き保存、名前を付けて保存、ファイルの移動・コピー・削除	キーボード入力（４０文字/１分） 自分で適切に、ドキュメント、スプレッドシート、スライド、Jamboard 等を選択し、操作することができる ファイルの圧縮・パスワードによる暗号化
		絵や図、簡単な表やグラフを用いて情報を整理することができる １、２点の情報から、その大体を捉えることができる 相手に応じて情報のやりとりをすることができる ミライシードを用いて、ファイルを開いたり・保存したりすることができる	表やグラフなどを用いて情報を整理することができる ２、３点の情報から、傾向、変化を捉えることができる 相手や目的に応じて安全に情報のやりとりをすることができる	目的に応じて、表やグラフを用いて情報を整理することができる 複数の情報から、傾向や変化を捉えることができる 相手や目的に応じて適切に情報のやりとりをすることができる	目的に応じて、表やグラフを用いて情報を統計的に整理することができる 目的に応じて収集した資料から、傾向や変化を適切に捉えることができる 相手や目的に応じて効果的に情報のやりとりをすることができる
情報活用	思考力・判断力・表現力等	体験や活動から疑問をもち、解決の手順を見通すことができる 事実や根拠に基づき、分析・判断することができる	収集した情報から課題を見付け、解決に向けた活動を実現するための見通しを立てることができる。 事実や根拠に基づき、適切に分析・判断することができる	問題を焦点化し、試作等を行いながら問題解決のための計画を立てることができる。 事実や根拠に基づき、論理的に分析・判断することができる	条件を踏まえて情報活用の計画を立て、解決に向けた計画を複数立案することができる。 できるだけ多くの事実や確たる根拠に基づき、客観的に分析・判断することができる
		１、２点の情報から、分かったことをまとめることができる 問題解決の過程を振り返り、自らの解決のよさを確かめることができる	２、３点の情報を比較したり、関係付けたりして、新たな意味を見いだすことができる 問題解決の過程を振り返り、改善点を見いだすことができる	得られた情報について論理的に考察し、新たな意味を見いだすことができる 問題解決の過程を振り返り、効果を見いだすことができる	目的に応じて収集した資料を多角的に考察し、新たな意味を見いだすことができる 問題解決の過程を振り返り、観点を決めて評価し、改善することができる
	学びに向かう力・人間性等	事象と関係する情報を見付け、検討しようとする 情報活用を振り返り、自らの解決のよさを見付けようとする	事象のつながりを捉えて検討し、考察しようとする 情報活用を振り返り、改善点を見いだそうとする	事象を構造的に理解し、批判的に考察しようとする 情報活用を振り返り、効果や改善点を見いだそうとする	事象を、情報とその結び付きの観点から捉え、批判的に考察し、判断しようとする 情報活用を振り返り、効率化の視点から評価し改善しようとする
	知識・技能	正しく事象を分解したり、組み合わせたりすることができる 命令の順次処理 (例.避難訓練の行動の順序を考える等)	繰り返し、条件分岐、変数を含むプログラムを制作することができる 繰り返し処理、条件分岐処理 (例.算数の筆算のアルゴリズムを考える等)	意図した処理を行うための適切なプログラムを制作することができる(５年算数「正多角形と円」) マイコンボード・センサーの活用 (６年理科「私たちの生活と電気」)	問題解決のための安全・適切なプログラムを制作することができる コンピュータ同士をつなぐネットワークの構築やデバック(プログラムの動作確認・間違い修正)
		適切な手順の組み合わせを考え、実行することができる プログラミングにあたり、絵や図、簡単な表やグラフを用いて情報を整理することができる プログラミングに関し、情報の大体を捉え、分解・整理し、まとめることができる	問題解決に向け、見通しを立てて手順の組み合わせを考え、実行することができる プログラミングにあたり、表やグラフなどを用いて情報を整理することができる プログラミングに関し、情報の傾向、変化を捉え、新たな考えや意味を見いだすことができる	問題解決に向け、計画を立案し、他者と協働しながら実行することができる プログラミングにあたり、目的に応じて、表やグラフを用いて情報を整理することができる プログラミングに関し、情報の傾向や変化を捉え、解決策を考察することができる	問題解決に向け、複数の計画を立案し、評価・改善しながら実行することができる プログラミングにあたり、表やグラフを用いて情報を統計的に整理することができる プログラミングに関し、情報の傾向や変化を捉え、解決策を考察することができる
プログラミング	学びに向かう力・人間性等	繰り返し試し、プログラムの改善策を見いだそうとする プログラミングによる学びを、生活の中で使おうとする	試作などにより、プログラムの改善策を見いだそうとする プログラミングによる学びを、生活に生かそうとする	試作などにより、プログラミングによる問題解決の方策を見いだそうとする プログラミングによる学びを、よりよい生活や社会づくりに生かそうとする	効率化の観点から、プログラミングによる問題解決を最適化しようとする プログラミングによる学びを、よりよい生活や持続可能な社会づくりに生かそうとする
	知識・技能	自他の大切さを理解することができる 情報機器を使用する際の基本的なルールに基づき正しく使用することができる	自他の情報の大切さを理解することができる 情報を守るための基本的な方法を知り、情報機器を使用することができる	情報に関する自他の権利を理解することができる 情報を守るための方法を知り、情報機器を使用することができる	情報に関する個人の権利と重要性について理解することができる 情報セキュリティ確保のための対策を実施することができる
		インターネット上でのルールやマナーを守り、情報を閲覧したり、発信したりすることができる	インターネット上などにある情報が正しいかどうか判断することができる 不審なメール、迷惑メールなどに適切に対処することができる	ルールやマナーを守り、チャット、電子掲示板、Web、SNS などを利用することができる セキュリティ管理のための ID やパスワードを適切に管理、利用することができる	目的に応じて、チャット、電子掲示板、Web、SNSなどを適切に利用することができる 目的に応じてアプリやインターネット上のサービス等を安全に利用することができる
情報モラル・情報セキュリティ	学びに向かう力・人間性等	自他の大切さを踏まえ、適切に行動しようとする 情報や情報技術を使おうとする	自他の情報の大切さを踏まえ、適切に行動しようとする 情報や情報技術を、生活に生かそうとする	情報に関する自他の権利があることを踏まえ、適切に行動しようとする 情報や情報技術を、よりよい生活や社会づくりに生かそうとする	情報に関する個人の権利と重要性を踏まえ、適切に行動しようとする 情報や情報技術を、よりよい生活や持続可能な社会づくりに生かそうとする